

ラブ Love Maid

メイド

優しくてあまあまな
巨乳エロメイドさんと
セックスしまくるお話

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入 閲覧禁止

西園寺家
何代にも渡り事業を
成功させてきた
歴史のある名家

屋敷の敷地面積も広く
使用人の数も百人は
超えている

もうそろそろ
起こしに行く
時間よ

はい

よし：
出来たっ

そんな使用人の朝は早く
こなさなければいけない
ことが沢山ある

楽しみだなあ♡



今日は温かいお紅茶を
淹れて来ましたよ

う…ん



ご主人様っ
朝ですよー



早くに起きて
寝起きのケアを
してくれる

美味しい…



あっ
びゅん



紅茶が飲み終わったら…
始めましょうか…♡



毎朝
主人を起こしに
くること

うふふ
おはようございます
ご主人様♡

ん…おはよう
天羽



それは...

ま、待って
天羽ッ

激し...
すぎるッ



そんな中でも
一番大事な
決まり事



こんなにガチガチに
勃起させてたら
お身体に悪いのでえ...

精一杯
お世話させて
いただきます♡

使用人の身体を使って
主人の性処理と性教育を
することだ



ダメですよ
ご主人様♡

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

ゴッゴッ

西園寺家の
人間たるもの
勉強やスポーツと
同じように



天羽
まってッ

女性の扱いにも
長けていなければ
ならないという
ことらしいが



やばいッ
射精るッ!!

朝からこんな
エロいことまで
してもらえる
なんて…



んっ…♥私も
いっっちゃった…♥



快感で
頭がおかしく
なりそうだ…

はあ…♥はあ…♥
射精したばかりなのに
まだガッチガチ…♥



これは
もう一回…



ですね…ッ♥

ブキョウ



ごめんなさいね…
帰ってくるまで
黙っているよう旦那様に
頼まれていたのよ…



僕がこの決まりを
知らされたのは
1週間ほど前



進学のために
3年間の留学から
帰ってきた時だった

以上が
家の決め事について
の話なんだけど…

留学先が
御曹司の集まる男子校で
寮生活を強いていた
こともあり

ただでさえなかつた
僕の女性への耐性は
完全に0になっていた

家の決まりがあるのに
メイドさんを見るだけで
赤面してしまい

ドキドキして
コミュニケーションも
上手く取れない始末

なんとかしよう
メイド長がとある
提案をしてくれた

メイド長
失礼します

もう帰って
らっしゃった
のですね



天羽は昔から
僕の世話や勉強を
よくみてくれていた
メイドさんだ

うちのメイドの
たかなしあまは
高梨天羽を専属メイドとして
あてがうということだった



うふふ♡
お久しぶりです♡



馴染みのある
メイドさんで
ゆっくり女性慣れを
してほしいという事
なのだろう



天羽ちゃん
よろしく
お願いね♪



優しい天羽なら
安心してお願いできる…
と思ったけど

了解です
専属メイドとして
頑張ります♡
よろしく
お願いします♡
ご主人様♡

天羽のアプローチは
想像以上に積極的
だった

すごい♡

こんな難しい所の
勉強をなさっているん
ですねえ…

さすが
ご主人様です♡

う…うん
ありがとう…

おい…♡

それだけ
ではない

うーん…
ちょっと待って
くださいね

もう少しで…

よし
取れた♪

ドキ
ドキ

日常のお世話の最中に
無防備な姿を晒すように
なった

すみません
手こずって
しまいました…

まるで僕の
性欲を煽って
くるかのよう…



むわわわ

ゆせ

ムム

ムム



今降りますね

ムム

ジュワッ



もう少し
大胆に誘って
みようかな…



ありがとね
天羽…っ



ちょっと
休憩してくるよ

ごめん
本取ってもらった
ばかりで悪いけど…

はい
了解しました



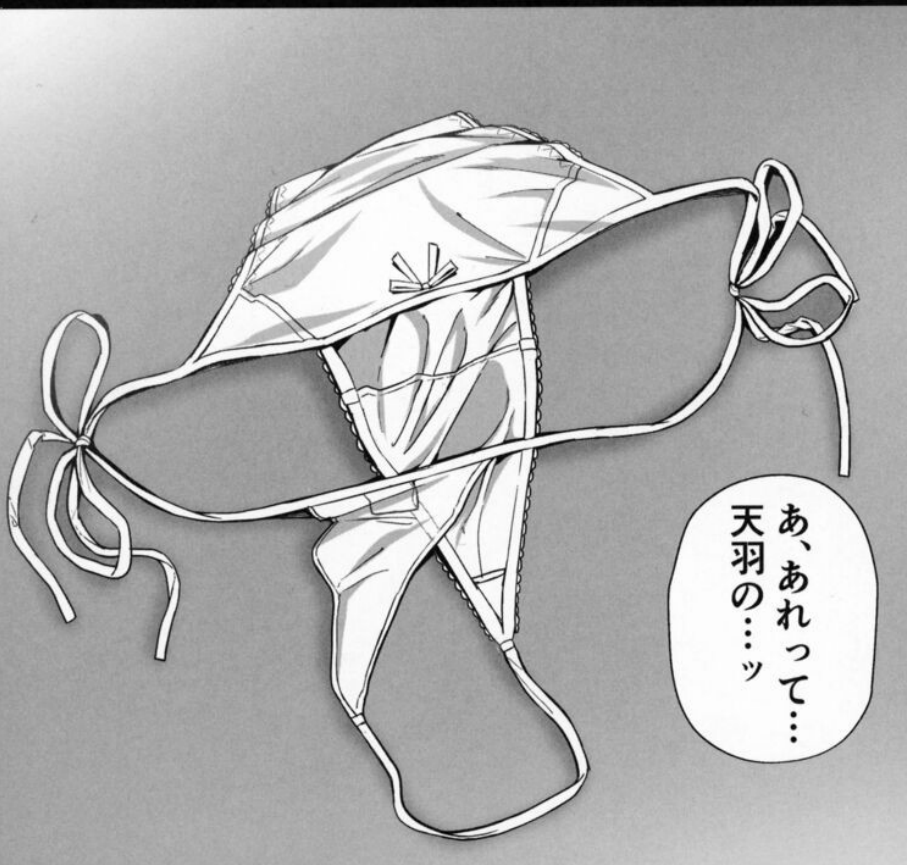
そんなに見つめて
どうしたんですか...

ご主人様
お申し付け
くだされば...

いつでも
準備万端
ですよ...



天羽は容赦なく
ねっとりとした
性欲を浴びせ続け
てきた



あ、あれって...
天羽の...ッ



ん...?
なんか落ちてる



そんなことが続いて
いたある日

ただでさえ
女性耐性のない
僕が毎日性欲を
ぶつけられ
我慢していた中に

天羽…ッ

うッ

あまは…

天羽…ッ

絶好のオカズが
目の前に出てきて
しまったのだ…

一心不乱に
天羽を思いながらする
オナニーは背徳感が増して
本当に気持ちよくて

抗うことなんて
不可能だった

理性のタガが
外れるには
容易かった

ガキヤ

あら…♡



洗濯物を運んでいる間に
下着を落としちゃったん
ですけれど…

こんなところに
あったんですねえ…

女性に関心を持つのは
喜ばしいことですけど

こんなオナニーで
お射精を覚えては
いけません♥

正しいお射精を
教えるのもメイドの
務めですので…

これからは私が
性教育を施して
いきます…♥

あ…

うう…

すん…
すん…

ズグズグ…
ズグズグ…
ズグズグ…

ズグズグに溶けた
直後にこんな提案を
されて…

答えは
一つだった









最高
すぎる…ッ

私のおまんこ
どうですかあ…♡

パン
パン
パン

ピュン
ピュン
ピュン



ぬるぬる
うねって
気持ちいい…ッ

ピュン
ピュン
ピュン



膣内…
熱くて…

すごく…ッ

ピュン
ピュン
ピュン



ん…っ♡
よかったあ♡

ご主人様のために…♡
毎日おまんこほぐして
準備していたんですよ♡

あん♡

ピュン
ピュン
ピュン

ピュン
ピュン
ピュン



ご主人様...
はむ...むちゅ

ごしゅ...
すき...

れろっ

んっ...



だからあんな
大胆に誘って
きてたんだ



天羽がこんなに
思ってくれて
いたなんて

天羽の優しい
雰囲気との
ギャップが
たまらない……ッ

んっ♡

あ……♡
ごしゅ♡

はむ♡



天羽……



もう我慢
できない……ッ



私の膣内の感触
確かめながら♡

奥に思い切り
射精して
ください♡



もう限界だ……



だめえ…♡

最後まで
しっかり射精
してください…♡

うっ…

あ…

また
射精するッ

エエエエエ

最後の最後まで
徹底的に搾り
取られて…

一方的に未知の
快楽を
流し込まれて…



僕の初めての
セックス実習が
終了した

あん…♡
童貞卒業…♡

おめでとう
おめでとう…♡





そうして
解放されたのは
もう3回ほど搾り
取られた頃—

気持ちよかった
ですか…?

すごく良くて…
最高でした…

あー♥
良かった♥



ご主人様の前だと
私スイッチ
入っちゃって…

は…

は…

エロい欲求が
たくさん湧いて
きちゃうんです…



さっきは勢いで
言っちゃい
ましたけど…



ほんといろんなこと
言っちゃいました…
恥ずかしい…

き、気にしないで

あはは…

溜ま、た性欲を
容赦なくぶつけこしまい
せる干やりすぎを
シラフに戻、た顔、



本心なん
ですよ…?



私の身体は
好きして
いいですから...

なんでも
お申し付け
ください！

ご主人様♡

あ...天羽...

わ...わかった



—そして
次の日



いつもどおりの
朝がきた

こんなところにも
キスマーク
できてる...



昨日の興奮も冷め
やらぬまま



ご主人様
おはよう
ございます

唯一違うところが
あるとすれば

天羽がより
明るく接してくれる
ようになったこと

朝ごはんの
支度しますね

天羽お手製の
半熟オムライス
です♥

冷めないうちに
召し上がって
ください♥

ハート
ケチャップだ…

そうして
朝ごはんを
済ませた後は…

美味しー!

うふふ
ありがとうございます♥

ご、ごめん…
上手く入ら
なくて…

焦らないで
大丈夫ですよ♥



食後のセックス
実習の時間だ

あん♥
ご主人様♥

お上手
ですよ♥

すごくっ
良い所
当たって

おん
おん
おん

気持ち
いいです…♥

おん
おん
おん

おん
おん
おん

ただ…

天羽…?

ふう♥

ご主人様…♥

んう…ッ

おん
おん
おん

おん
おん
おん

おん
おん
おん



スイッチ入った
天羽のキス...
やっぱりするこい...ッ

ふはあ...
きちもち...



任せて
良かったわ

うふふ
天羽ちゃん
順調みたいね



はい♡

これからも
坊ちやまを
頼みますよ



うふふ♡
メイド長ありがとうございます



任せて
ください♡



ご主人様…

勉強中ずっと
私のおっぱい
見てましたよね…♡

そ…
それは…

でも
大丈夫
ですよ♡

私のおっぱいで
しっかり抜き抜き
してあげます
からね…♡



めろめろ…♡



女性への耐性は
正直まだ良くは
なっていないけど

ひっ
あッ

そんな自分の
意志とは裏腹に



どんどん天羽のことを
エロい目で追っている
自分がいて…

ご主人様の
大好きな
おっぱいで…

おちんぼ♡
ませませして
あげますからね♡

私のおっぱいで
気持ちよくなっ
てください♡

射精してっ♡

射精してっ♡

射精と同時に
この快楽に抗う術は
ないと思いきらされる



よっぽど気に入った
みたいですね...

うっわあ...
すごい粘っこい
精液...

あ...

あ...



いくッ

ん...
ぐちゅぐちゅ
かき混ぜて...

完全に歯止めが利かなくなっていた…



ついこの前まで童貞だった自分には…



過ぎた快感だった…



そうして
1ヶ月くらいが
過ぎたころ

学校用の
課題もほぼ
片付いてきて

長期休みの
終わりが近いのを
実感していた



色々片付いて
後はゆっくりするだけに
なりましたね

天羽とも
比較的話せる
ようになってきた

まだ目を見て
話すのは
恥ずかしいけど…



天羽のおかげで
どんどん良くなって
来てると思う…

あら〜♡
嬉しいです♡



私からの性教育とは別に
ご主人様から求める回数も
増えてきましたよ♥

私は嬉しい
ですけど♥

ご主人様が
女の子を好きになって
くれるのが一番
ですから

ふふ…♥
私から少し
提案があるん
ですけど…

ご主人様が
より女の子を好きに
なっていたただくための
提案です♥

きっとお喜びに
なりますよ♥

それはあ…

天羽の提案は
少し意外なもの
だった

休み明け
最後の性教育まで

一切のエロい行為を
禁止するということ
だった

もちろん
お互いオナニーも
禁止

よし…課題
終わった…

元々静かな性格の
自分からしたら
全く苦にはならない
提案だと思った

だったはず
なのに…

数日のお預けだけで
頭が沸騰しそうに
なっていた…

や…
やばい…





き、きた…ッ

クソッ



クソッ



お待ち
しました
❤



ちんぽに
我慢を
まてて
早く
出した
ら早く
出さ
ないと
早く
出さ
ないと

お
わ
ず
ッ

クソッ

期待値高まりすぎて
我慢汁止まらな…ッ



ちんぽ
ガッチガチに
勃起させて…

しっかり
約束を守ってくれた
みたいですねえ…❤

ト
オ



ご主人様が喜んでくださると思って特製穴あきエロ下着を選んでみました…♡

むわあ…♡

気に入っていただけましたか…♡



余裕がなくてそれどころじゃないさそうですね…♡

ふふ♡ご主人様お口あーんしてください♡

って…
あら…♡



素股で腰振り
とまらない…

れろお…
がっついて
可愛♡



でも…
まだお預け
です…♡



んっ
天羽…ッ

もう我慢
できないんだ…

はやく
シたいよ…ッ

あまはあ…

あまはあ…

あまはあ…



今日は先に…

私のおまんこの
ほぐし方を覚えて
もらいますので…♡

もう少しだけ
我慢して
ください♡

僕が天羽のこと
気持ちよくして
あげないと…ッ



すごく甘い
媚びたエロ声…ッ



何回も
かき混ぜて…ッ



このコリコリ
したところを
引っ掻いて…



天羽の
弱い所をエグリ
まくる…ッ

いく…♡
潮吹き出る…♡

止まらない…
です…♡

はぁ♡

お疲れ様です
ご主人様…♡

手マン前戯
最高に気持ち
よかったです…♡

前戯も終わったし…
実習の方を
始めましょうか…

ま、
まって…

コンドーム
付けないと…

安心してください
ご主人様…

今日は特別に
ゴム無しで
大丈夫な日なので…♥

私の身体を
使って…

子作り用の
本気生セックス…♥
いっぱいシてください♥

おねえ…♥

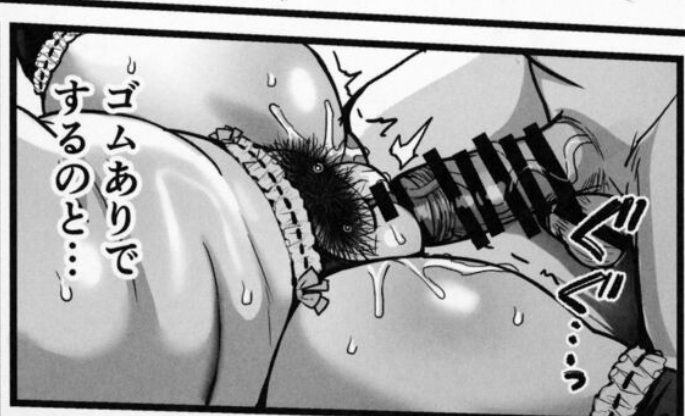
生セックス
出来るんだ…

はやく挿入れ
たい…ツ

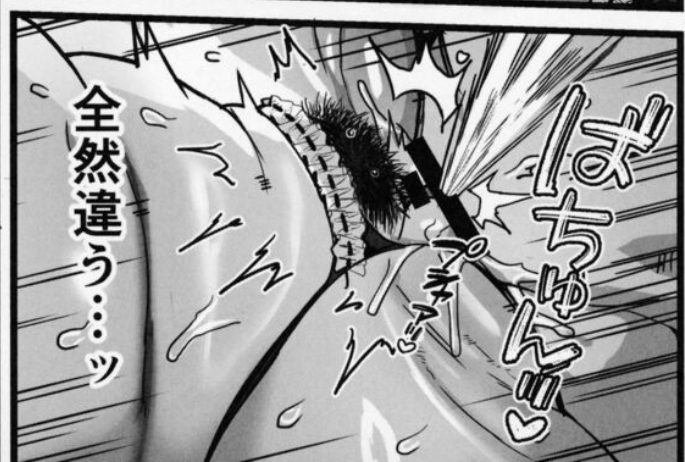
んんん…



もう我慢
出来ない……ッ



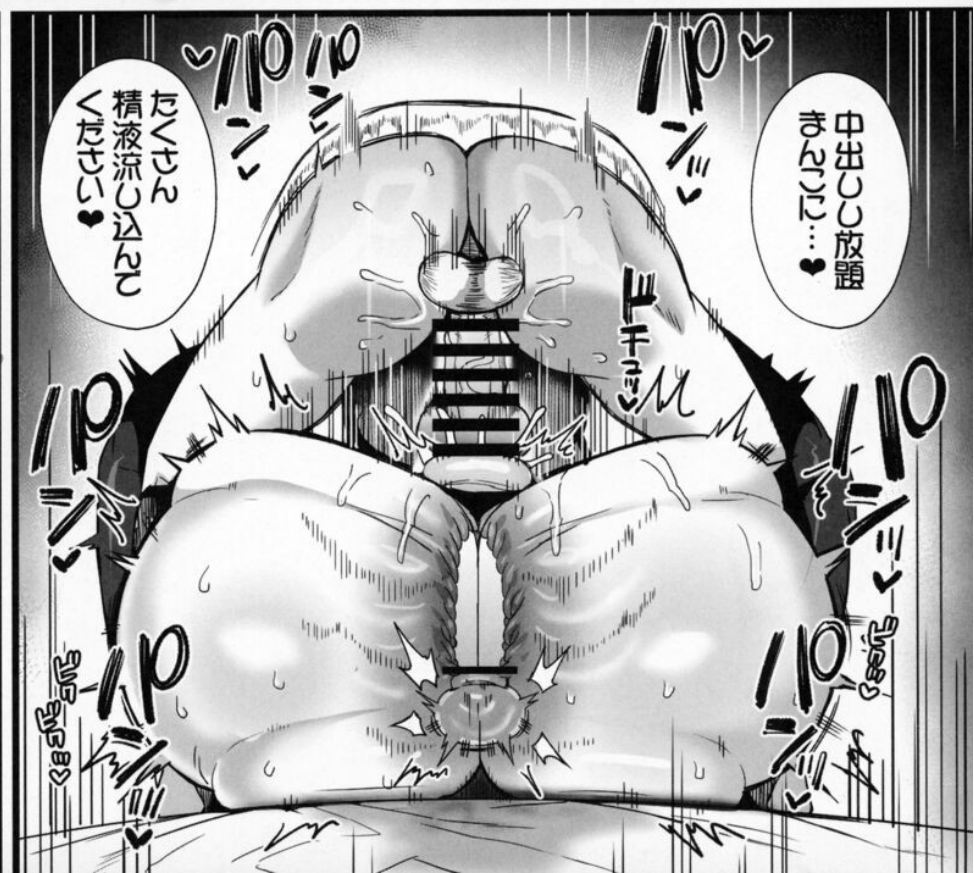
ゴムありで
するのと……



全然違う……ッ



これヤバイ……ッ





やばい... 生中出し...

ズクズク

射精る... ツ

こんな気持ちいことが あったなんて...

最高...





こんなにいっぱい
お射精できて
素晴らしいです♥

はあ…

は…あ…

実習の工程は
一通り終わりましたけど…
この後はどうされますか…？



今日は
ご主人様の
精液が空っぽに
なるまで…

ふふ…
私もです♥

気持ち
良すぎて…
もっと天羽と
したい…



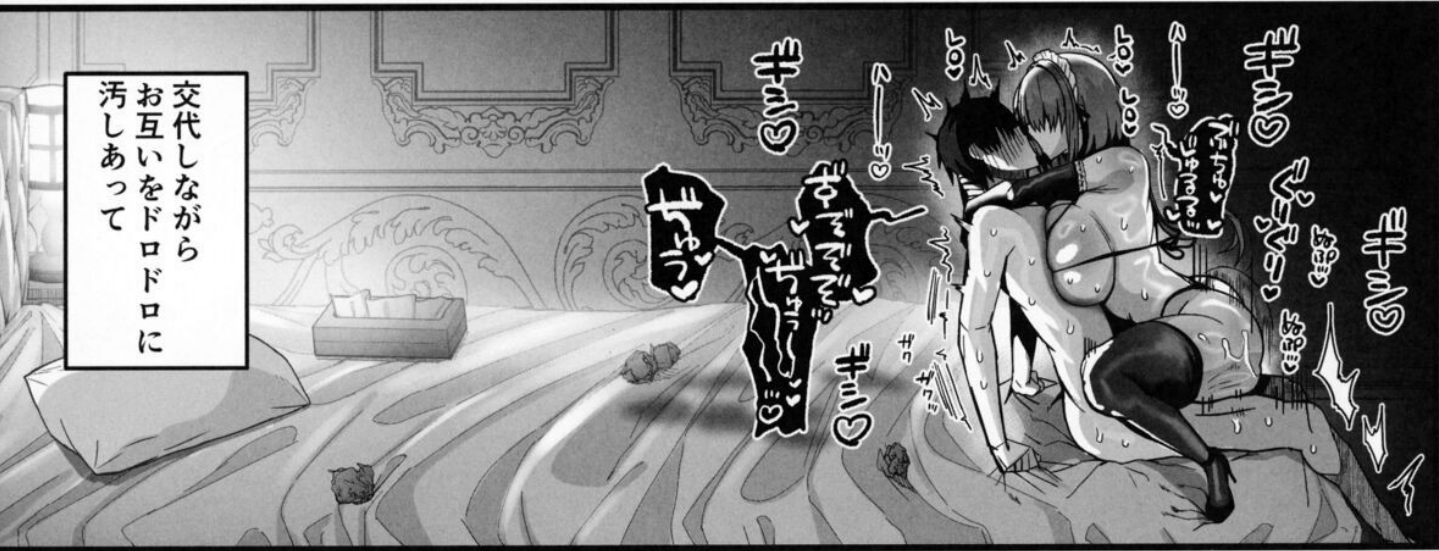
私のおまんこ…
いっぱいハメ倒して
ください♥

そこからは—

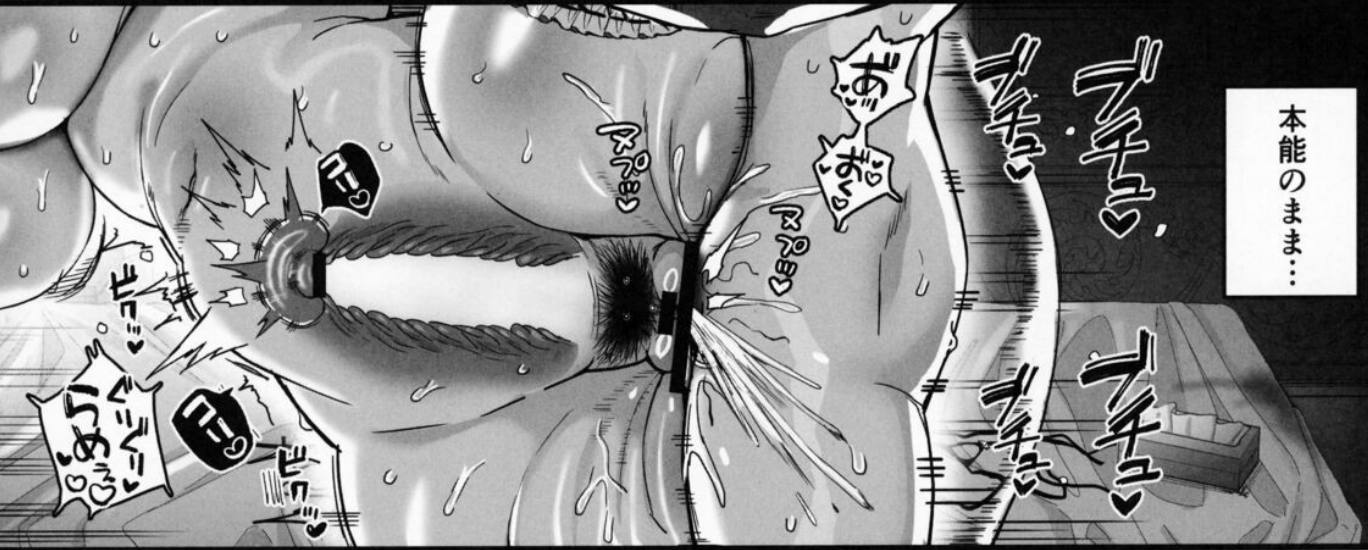
ひたすら
セックスに
夢中になって



交代しながら
お互いをドロドロに
汚しあって



本能のまま...



誘われるままに
何度も中出し
した



ご主人様あ♥
天羽のこと
好きっていいこえ…♥
おちゅ…おちゅ…♥



でも…
おちゅおちゅ…

これも子作り
レッスンの一環
ですからね…♥



おねがい
します…♥



う…
わかった…ッ

す…すき…
天羽好きッ

そうして一晩中
休みなく行為に
耽っていった…



そして深夜も
過ぎた頃—



もっと奥...♡
思い切り突いて
ください...

もはやお互いに
理性は残って
いなかった



快楽のままに
夢中で腰を振り
続けた



僕は天羽の
声に誘われ

ガッ

ご主人さま好き
ロックス最高め...♡



あゝ
私の弱点完璧に
把握されてるっ♡

ご主人様のザーメン
欲しすぎて♡
子宮が完全に降り
きっちゃってますっ♡

ズン
ズン
ズン



天羽...ッ
溜めてた精液
全部でる...ッ

んふ...♡
お願いします♡
くたくたに
濡けきった子宮に♡

特濃子種ミルク
いっぱい注いで
ください♡♡

ズン
ズン
ズン





そうして溜まっていた
精液を全て
出し切って

天羽との
生ハメ性教育が
終わった

そして日が昇って
朝になったー

ふふ♡
あれだけ夢中になって
くださるなんて♡

作戦
大成功
ですね♡

このまま女の子を
好きになってもらって
私のことも…♡

…ご主人様？





あとがき

初めましての方は初めまして、Blue_Gkと申します！
この度はこの本を手にとっていただきありがとうございます！

今作が初めてのオリジナル作品になのですが、
ずっと漫画で描きたいなと思ってたお話を
ようやく書き起こすことが出来てすごく楽しかったです！
天羽ちゃんはずっとイラストとかでは描いていたのですが、
こうして1冊の本でお出しできる日が来るとは…感慨深いです！

あとは、ピクスケの作業配信中のコメントの温かさには
本当に助けられました…ありがとうございます！！

次は天羽ちゃんメイン心情の中編くらいのボリュームの漫画とか、
ほかのメイドさんでも1冊描きたいな…とか、
いろいろ妄想が捗っております！

最後に、今作の感想をいただけると非常に励みになりますので
何卒よろしくお願ひします！！
それではまた次のイベントで会いましょう！

【奥付】

発行日：2024/8/12
発行サークル：Flock Blue
発行者：Blue_Gk
印刷所：大陽出版

X(旧twitter)：@bgfb0321
mail：bluegk0321@gmail.com



Flock Blue